

第 56 回名古屋臨床神経病理アカデミー
(日本神経病理学会名古屋地区地方会)
プログラム

2019 年 8 月 3 日 (土曜日) 9 時 30 分～

名古屋大学医学部 (鶴舞キャンパス) 研究棟 3 号館

3F 会議室、顕微鏡実習室

2019年8月3日(土曜)

9時30分～

受付・標本供覧 開始

*資料代として、2000円徴収させていただきます。

(*11時20分～11時40分世話人会)

11時45分 ランチオンセミナー(協賛:東和薬品)
協賛企業より製薬情報アナウンスメント

12時00分～12時50分 特別講演
(司会・入谷修司(名古屋大学))
池田研二先生(香川大学炎症病理)
「BPSDの病理学的背景」

池田先生御略歴

1972年 岐阜大学医学部卒業・同年 神経精神科勤務
(1974年～1976年美濃加茂病院勤務)
1978年 Alexander von Humboldt 財団研究員 Göttingen 大学 神経病理部門留学
1981年 東京都立松沢病院勤務
1991年 東京都精神医学総合研究所 神経病理部門 副参事研究員
(1996年～参事研究員)
2004年 (財団)慈圭病院精神科・慈圭精神医学研究所
現在 香川大学炎症病理学部門

1250-1300休憩

13時00分～ 臨床・神経画像・病理 検討会
(神経画像コメント:櫻井圭太先生(帝京大放射線科))
開会の挨拶 (岩井清先生・もりやま総合心療病院・院長)

症例1

13:00-13:30

座長:岩井清(もりやま総合心療病院)

演題名:精神症状で発症し、急速進行性の認知機能障害を呈した、40歳代発症の孤発性クロイツフェルト・ヤコブ病の長期経過例

所属:1)愛知医科大学 加齢医科学研究所、2)小山田記念温泉病院 脳神経内科

発表者名:○岩崎靖¹⁾、森恵子²⁾、伊藤益美²⁾、川合圭成²⁾、赤木明生¹⁾、陸雄一¹⁾、三室マヤ¹⁾、宮原弘明¹⁾、吉田眞理¹⁾

症例 2

13:30～14:00

座長：藤城弘樹（かわさき記念病院）

演題名：全経過 20 年で死亡した高齢発症 DRPLA の 1 剖検例

所属：1) 中部ろうさい病院 神経内科 2) 愛知医科大学加齢医科学研究所

発表者名：○梅村敏隆¹⁾、赤木明生²⁾、金子雄紀¹⁾、松本慎二郎¹⁾、上條美樹子¹⁾、亀山隆¹⁾、吉田真理²⁾

症例 3

14:00～14:30

座長：宮原弘明（愛知医大・加齢研）

演題名：頭部 MRI にて TENT 上下に造影効果を伴う腫瘤像を認め、2 回の脳生検にても確定診断に至らなかった 1 例

所属：1) 豊田厚生病院 脳神経内科、2) 豊田厚生病院 病理診断科

発表者名：○竹中徳子¹⁾、森悠¹⁾、赤塚和寛¹⁾、冨田稔¹⁾、伊藤瑞規¹⁾、服部直樹¹⁾、氏平伸子²⁾

症例 4

14:30-15:00

座長：岩田拓（あさひが丘ホスピタル）

演題名：被害妄想や健忘症状で発症し、経過中、激しい自傷行為を認めた FTLD-pick の一例

所属：1) 東京都立松沢病院 精神科、2) 東京都健康長寿医療センター 神経病理、3) 東京都医学総合研究所 認知症プロジェクト

発表者名：○村端祐樹¹⁾、梅田健太郎¹⁾、河上緒^{1,2,3)}、新里和弘¹⁾、大島健一¹⁾、長谷川成人²⁾、斎藤正彦¹⁾

1500-1510 休憩

症例 5

15:10-15:40

座長：赤木明生（愛知医大・加齢研）

演題名：精神病症状と徘徊が目立ち比較的長期経過を辿った Globular glial tauopathy の一剖検例

所属：1)名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野、2)もりやま総合心療病院、3)名古屋市立東部医療センター脳神経内科、4)桶狭間病院藤田こころケアセンター、5)愛知県精神医療センター、6)愛知医科大学加齢医科学研究所

発表者名：○平野光彬¹⁾、鳥居洋太^{1,2)}、三輪綾子²⁾、山田健太郎³⁾、関口裕孝⁴⁾、羽瀨知可子⁵⁾、合澤祐⁵⁾、藤城弘樹¹⁾、岩井清²⁾、川島邦裕²⁾、池田知雅⁶⁾、吉田眞理⁶⁾、入谷修司¹⁾

症例 6

15:40～16:10

座長：吉田眞理（愛知医大・加齢研）

演題名：「網谷病」と IgM-MGUS を合併した筋萎縮性側索硬化症の1剖検例

所属：1)滋賀県立総合病院 病理診断科 2)同 脳神経内科

発表者名：○新宅雅幸¹⁾、山木妙夏²⁾、安藤功一²⁾、竹内 均²⁾、長谷川浩史²⁾

症例 7

16:10-16:40

座長：関口裕孝（桶狭間病院・こころケアセンター）

演題名：正常圧水頭症でシャント手術後、リチャードソン症候群を呈した一剖検例

所属：1)国立病院機構東名古屋病院 脳神経内科、2)岡崎市民病院 脳神経内科、3)愛知医科大学加齢医科学研究所

発表者名：○饗場郁子¹⁾、齋藤由扶子¹⁾、横川ゆき¹⁾、見城昌邦¹⁾、片山泰司¹⁾、榊原聡子¹⁾、橋本里奈¹⁾、佐藤実咲¹⁾、竹中宏幸¹⁾、犬飼 晃¹⁾、小林 靖²⁾、平野光彬³⁾、安藤孝志³⁾、岩崎靖³⁾、宮原弘明³⁾、赤木明生³⁾、三室マヤ³⁾、吉田眞理³⁾

症例 8

16:40-17:10

座長：三室マヤ（愛知医大・加齢研）

演題名：高齢で発症したハンチントン病の一例

所属：1) 桶狭間病院藤田こころケアセンター、2) NPO 法人脳神経オーダーメイド医療研究センター、3) 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野、4) 愛知医科大学加齢医科学研究所

発表者名：○関口裕孝^{1,2)}、平野光彬³⁾、藤田潔^{1,2)}、吉田眞理⁴⁾、入谷修司³⁾

17:10～

閉会の挨拶・次回アナウンス 吉田眞理先生（愛知医大加齢研）

アクセス・案内図



駐車場がございますがスペースが限られておりますこと、ご了承ください。

